



Indeed Japan 株式会社

「職場における男性特有の困難や障壁に関する調査」結果

調査対象	全国 20～59 歳の男性の正規雇用者 (現在就業中の正社員、会社経営者、公務員、団体職員含む)		
有効回答数	2,500 人	調査方法	インターネット調査
調査時期	2023 年 10 月 20 日～10 月 23 日		

昨今、女性の社会進出や職場での男女間の不平等是正に向けた取り組みが進められている。一方で、性別による行動の決めつけや役割分担など、“無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）”の問題が指摘されている。今回は男性ビジネスマンを対象に実施した調査から、アンコンシャス・バイアスに起因する男性特有の困難や障壁の実態についてみてみたい。

経験したことがあり、悩んでいる……………**39.7%**

職場で“男性特有の何らかの困難の経験”の有無について尋ねたところ、「経験したことがあり、悩んでいる」が39.7%、「経験したことがあるが、悩んでいない」が14.9%、「経験したことがない」は45.4%であった。

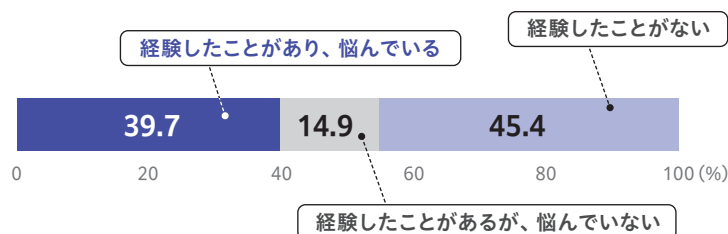
何らかの困難を経験したことがある人は54.6%（「経験したことがあり、悩んでいる」+「経験したことがあるが、悩んでいない」）で、全体の半数を超えている。

「男性であるがゆえ」という思い込み

経験したことがある困難の内容でもっとも多かったのは、「男性であるがゆえ肉体的にハードな仕事をさせられやすい」が40.9%、以下、「男性であるがゆえ残業など長時間労働をさせられやすい／断りづらい」39.7%、「男性であるがゆえ家庭より、仕事を優先す

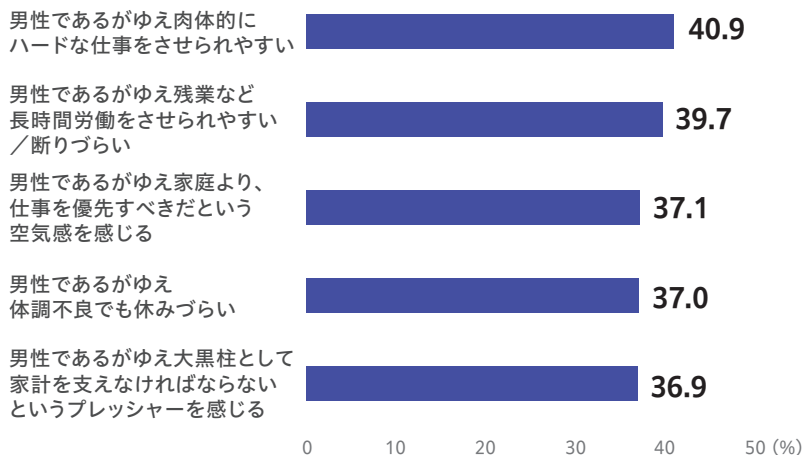
職場で男性特有の困難を経験したことがある人は **54.6%**

職場における男性特有の困難の経験と悩み (n=2,500)



経験したことがある困難の内容

【複数回答、上位5位まで (n=1,365)】



べきだという空気感を感じる」37.1%などが続いている。

職場での不平等感や処遇改善に取り組む前に、まずはアンコンシャス・バイアスに起因する先入観や偏見を取り除くことから始める

必要があるのかもしれない。性別や年齢による思い込みはないか。いまいちど、問い直してみてもうだろうか。

(インテリジェンスバリューコーポレーション株式会社 岩村克俊) ▲